

- 1 会議名 総務・産業建設常任委員会協議会
- 2 日時 令和5年6月16日(金)
午後2時58分から午後3時17分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席委員 (委員長) 谷平敬子 (副委員長) 須藤智子
(委員) 梅村均、水野忠三、大野慎治、塚崎海緒、木村冬樹
- 5 事務局出席 議会事務局長 丹羽至、統括主査 寺澤顕
- 6 委員長挨拶
- 7 協議事項

(1) 行政調査について

谷平委員長：委員から多くの提案をいただいた。

富山市の「ゼロカーボンシティ」、同じく富山市の「セーフ&環境スマートモデル街区整備事業」、東京都杉並区の「多様性に関する条例」、東京都座間市の「フードサイクルプロジェクト」、東京都狛江市の「水害に備えた排水ポンプ車運用訓練の実施と消防団のPR事業」、茨城県ひたちなか市の「空き店舗の活用」、茨城県阿見町の「地域予算制度」、厚生・文教常任委員会の関係かと思われるが高崎市の「SOSサービス」、千葉県いすみ市の「有機米・有機野菜」、千葉県柏市の「柏の葉スマートシティ」、群馬県高崎市の「高崎市まちなか商店リニューアル助成事業補助金」。1泊ということで、2カ所ないし3カ所か。

大野委員：1泊2日だと、初日は移動のため1カ所、2日目も関東圏だとしても移動に時間がかかるため、2カ所が限界かと考える。

谷平委員長：2カ所でいいか。関東圏は集まってはいるが、まだ交通機関など調べていない。

水野委員：今の段階で確定しなくても、移動経路などを調べてから2カ所か3カ所かを決めればいいのか。

木村委員：参考資料の朝市は横浜市栄区。NPO主体なので難しいかと思うが候補に入れてほしい。

須藤副委員長：内容はどうか。

谷平委員長：高齢者ということで、厚生・文教常任委員会の管轄と考え外した。

木村委員：例えば投票率の向上という目的で主権者教育がどうなっているか見るということも微妙なところ。以前、男女共同参画は生涯学習のほうにあったが、総務・産業建設常任委員会で「性の多様性を尊重する条例」を視察した。現在は協働安全課にあり、総務費に入っているので総務・産業建設常任委員会で視

察に行っても問題ないが。そのようなグレーゾーンはたくさんある。

谷平委員長：事務局と相談しながら。

梅村委員：事務局に相談しなくても、総務・産業建設常任委員会の所管が絡んでいけば、総務・産業建設常任委員会の視点で見て報告すれば問題ないと考える。

木村委員：一覧表には事業名のみどころがあり、必要性がわかりにくい。たとえば千葉県いすみ市の場合、学校給食で有機栽培のものを使用しているが、学校給食ということで、管轄がどちらの委員会なのか微妙なところ。先ほどの意見のような視点で通せば問題ないが。

大野委員：ひとつの市で2つの勉強をすることも、見識を深める意味でいいのではないか。狛江市の主権者教育は学校で行っているので文教と決めるのではなく、投票率向上をテーマとすれば総務の視点である。視察先の了解も必要だが、そのようにして多くの視察をしたほうがより良い視察になるように思う。

事務局：ひとつの市で2つの事業を視察すると限られた時間になるかと思うので、内容的にあまり深掘りはできにくいと思う。

谷平委員長：候補地に関しては、今出た意見を含め、事務局に問い合わせしてもらい決定するということでよろしいか。

事務局：提案のあった自治体すべて確認するのか。優先順位をつけてほしい。

須藤副委員長：行程等考えて。全てあたる必要はない。

梅村委員：優先順位をつけ、最初に視察を打診する候補を決めて、順次あたっていくしかない。候補地が多いが、2泊3日にはできないか。

須藤副委員長：公費の範囲内なら2泊3日も可能。

谷平委員長：前回1泊2日と決めただけで、行き先によっては2泊3日も可能。

水野委員：11月6, 7, 8日となると、8日に尾北五市の合同研修会がある。11月1, 2, 3日だと、3日が祝日。

塚崎委員：祝日は対応してもらえるのか。

須藤副委員長：祝日はあり得ない。

大野委員：10月31日も日程に追加することはできないか。

須藤副委員長：小牧岩倉衛生組合議会がある。

谷平委員長：また別日程で近隣を視察することも考えられる。あとは正副委員長に任せてもらってよろしいか。

(2) その他

なし

8 その他

なし